

コンシェルジュチーム 略歴

■磯貝 光一

(株式会社クロスフィールド 代表取締役 公認会計士)

監査法人及びコンサルティングファームで13年間経験を積んだのち、2001年7月に株式会社クロスフィールドを設立。経理・財務領域を中心に業務改善やシステム導入に関する数多くのプロジェクト経験をもとに各企業の実情に即した提案を行っている。

RPAについては、(1)複数システムから手作業で請求書を作成している業務、(2)輸出会社における大量の為替予約依頼業務など、経理・財務領域の業務に対する導入はもちろんのこと、(3)複数外部システムから受注データを取り込み、加工、基幹システムへ連携する一連業務に対する適用など、営業支援領域についても幅広く経験を有している。

■櫻田 修一

(株式会社アカウンティング アドバイザリー マネージングディレクター/公認会計士)

監査部門での8年間の会計監査業務および株式公開支援業務を経て、グループ経営管理、財務会計分野を中心とした、業務改革コンサルティングおよびERPシステム導入コンサルティング、プロジェクトマネジメントを手がける。2010年に創業メンバーとしてアカウンティング・アドバイザリーを設立。RPAについては中長期のIT投資とのバランスを考慮しつつ、経理・財務部門においての活用領域、スモールスタートを主体としたアプローチなどアドバイスを行っている。AI・ロボティクス部会座長を務めている。

■下山 慶太

(株式会社クニエ ディレクター 公認会計士)

外資系監査法人及び同コンサルティング会社で15年間経験し、事業会社に転職、CFO/CIOを担う。2015年にクニエに転職し、経理・財務・経営管理領域を中心に業務改革やシステム導入のプロジェクトを経験。RPAについては、対象業務抽出からRPAによる実証試験、定着化(RPA標準規約の作成ほか)に向けた支援などに携わる。

■中田 清穂

(有限会社ナレッジネットワーク 代表取締役社長)

RPAのメリットが経理部門になかなか享受されない状況に疑問を持ち、自らRPAの機能や価格の情報収集を行い、複数のトレーニング研修会に参加して、実際にロボを作成した経験に基づいて、「より安く、より簡単に、より早期に」RPAを経理部門で使えるにはどうすればよいかを中心に、啓蒙的な研修会や個別企業へのアドバイスをしている。

■長谷川 宏志

(INTLOOP 株式会社 取締役)

独立系コンサルティング会社であるINTLOOP株式会社の営業責任者として、各種コンサルティングプロジェクトを統括。多様な業種・業界における業務改革・システム構築・ITガバナンス構築等の経験を活かした提案力・コンサルティング力を強みとする。

RPA関連プロジェクトとして、「BPO事業者における給与計算業務のRPA化」、「飲食事業者における店舗業績資料作成」等、多数の実績あり。RPA製品の導入にとどまらず、関連するITガバナンス整備や、AI-OCR等RPAクラス2の実用化に向けた取り組みも推進中。アンダーセンコンサルティング(現アクセンチュア株式会社)、アイスタイル株式会社、フリーコンサルタントを経て現職。

■松井 晴彦

(グローシップ・パートナーズ株式会社 代表取締役)

約30年一貫してIT、ビジネスコンサルティング業務に従事。アロウズコンサルティング代表取締役、EYアドバイザリー代表取締役を歴任、2017年、当社の代表取締役に就任。コンサルティングサービスに加え、Fintech、RPA、AIなど先端テクノロジーを利用したサービス開発・展開を実施。